

指 導 書

団体名		担当者	
-----	--	-----	--

修繕などの内容

破損状況

① 水引幕
 昭和54年より現在まで48年使用してきましたが、経年劣化に伴い、まだらに色褪せし、当初本来の幕の色合い等の美しさが損なわれました。また生地 of 経年劣化で再染も出来ません。

② 小丸提灯
 従来より経年劣化に伴う穴開き、破れ及び焼失が発生するので、例年数十個程度の補修を行ってきました。コロナ禍で丸々3年ぶりに使用すると、特に穴開きや破れ等が多く、例年以上に穴明き提灯が目立ちましたが、そのまま使用しました。その結果、空気の供給量が増え、蠟燭の炎も大きく燃焼も速くなり、蠟燭の燃尽きも規格より早く、従来の約二倍の蠟燭本数を使って不経済になり、蠟燭交換の手間増加に加え夜間の屋台上での作業で屋台本体の損傷という不足の事態も発生しました。何より、穴開き提灯でみっともなく、美観を損ねています。

修理方法（材料・工法等）

① 水引幕
 従来の仕様・図柄（源氏車紋）で修理（新調）を行います。
 仕様：幕寸法 85cm×540cm 表地正絹縮緬 古代紫色染 裏地紫色化繊 源氏車紋ニヶ所染

② 小丸提灯
 全数を総点検し、損傷の大きい77個の提灯の上下の鉢も外して点検した結果、鉢類は残存部品として転用可能であったので、焼失滅失した5個も含め全82個の提灯火袋を従来寸法・図柄で修理張替を行います。

指導内容

令和4年12月 日

指導者	西条市教育委員会事務局 学芸員〇〇	
-----	-------------------	--

指導内容

